

## 墨東五区大会（低学年）城東予選 大会規定及び注意事項

1. 投捕間・塁間 投捕間は 14m、塁間は 21m とする
2. 試合回数 5 回戦とする。日没・降雨等の試合成立回数は 3 回終了時とする。
3. 試合時間 1 時間 20 分とし、以降新しいイニングに入らない。
4. コールドゲーム 3 回 10 点差以上、4 回以降 7 点差以上とする。
5. 延長 5 回終了時または規定の試合時間を超えた時点で同点の場合はタイブレーク（無死一・二塁、継続打順）を最大 1 回行う。それでも同点の場合は抽選で勝敗を決定する。
6. 投球制限 1 日 60 球以内とする。  
※ 60 球に達した時点で、その打者の打撃完了まで投球出来る。  
※ 一度投手から他の守備位置についた場合でも、60 球に達するまでは同一試合内で投手に戻ることが出来る。
7. タイム 監督が一試合で投手のところへ行ける回数、守備側タイムと攻撃側タイムは それぞれ 2 回以内とする。  
※ タイブレークに入った場合は、それぞれ 1 回とする。
8. 適用規則 当該年度の『公認野球規則』および『競技者必携』に準じる。  
※ 当大会で別途規定する場合は、これを優先する。
9. ベンチ 組み合わせ番号の若いチームが一塁側とする。
10. 先攻・後攻 審判員が立会のもと、主将のジャンケンで決める。
11. 試合前の練習 城東大会に準ずる。
12. 抗議権 監督と当該プレーヤーのみとし、ルール上のアピールのみとする。
13. 用具 用具墨は JSBB 公認のモノとし、両耳ヘルメットは 8 個以上用意すること。  
捕手はヘルメット・マスク・プロテクター・レガース、ファウルカップ着用。  
※ 控え捕手はファウルカップは着用しなくても良い。  
※ バットは「少年用」と表示されているモノを使用すること。
14. ベンチ入り 試合開始時点及び終了時点で 9 名以上居ない場合は棄権とみなす。  
選手 20 名以内、監督、コーチ 2 名、代表者、スコアラーがベンチに入れる。  
子供達への給水等に母 2 名以内もベンチ入りすることが出来る。
15. 代理監督 登録されているコーチが担当出来る。  
大会本部に申請し、指定された名札を付けてベンチ入りすること。
16. 服装 選手・監督・コーチはチームで統一されたユニホーム等を着用すること。  
代表者とスコアラーは指導者らしい服装で入ること。
17. マナーアップ 攻守交代は駆け足で行い、挨拶や用具の整頓等マナーを徹底すること。
18. 暴言・暴力等 指導者による選手及び審判員への暴言・暴力的行為を禁止する。  
相手チームに対しても同様とし、鳴り物入りの応援は禁止する。
19. グランドルール 各球場にて定める。